



# 神奈川県へのご意見 ありがとうございました！



令和7年6月に、「知りたくなる、子ども・若者に関する  
条例・計画の伝え方」をテーマにみなさんからいただいた  
ご意見について、県の考え方をお伝えします。

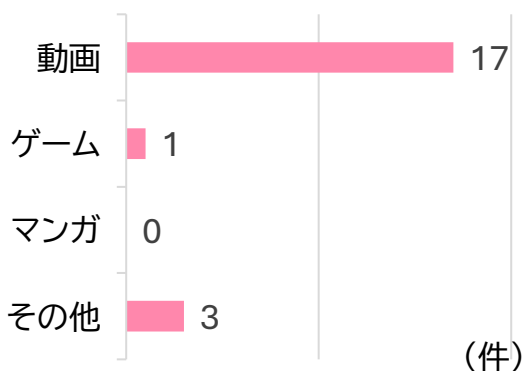


子ども目線会議

## ご協力いただいた方

県内大学 3年生のみなさん

## ご意見の数



どの年代を中心に伝えるべきかも  
考えながらご意見をいただき、あり  
がとうございました。

子ども・若者のみなさんには、動画  
が身近であることが分かりました。  
また、その他の意見としては、

- ・ゲーム
  - ・学校での掲示、配布
  - ・体験型授業(学習)
- などがありました。

## 県はこうしていきます！

みなさんからいただいたご意見を参考に、どのように条例と計画の内容  
を子ども・若者のみなさんに伝えたらいいか考えた結果、  
小学生や中高生など年代別に、それぞれ身近に感じるテーマを設定し、

**ショートドラマ**を制作することにしました。

今年の4月から制作を始め、来年(令和9年)の年明けごろにみなさんに  
見てもらえるよう準備を進めていますので、楽しみにしてください。

県の条例・計画を分かりやすい冊子にしました。  
詳しくはこちらをご覧ください→



## こんなご意見をいただきました

ストーリー仕立ての動画で、主人公をメインターゲットと同年代にすることで、視聴者が共感しやすく、自分事として考えてもらいやすい。



みなさんのお話を聞き、動画に関しては、子どもや若者のみなさんの「共感」を得られるかがとても大切なポイントだと分かりました。動画の視聴が自分事として考える機会に繋がるよう、親近感のあるテーマやストーリーを設定するなど、工夫をしたいと思います。



- ・ショート動画の形で、段階に分けて取組を説明していくことで、集中力を切らすことなく聞いてもらうことができる。
- ・ショートの縦動画だと、SNSを使って短時間で手軽に視聴してもらえるので、負担を与えずに情報を提供できる。



動画の中でも特に「ショート動画」というご意見を多くいただき、子どもや若者のみなさんがいわゆる「タイパ」を重視されていることがよく分かりました。負担にならず、最後まで興味を持ち見てもらえるような形を検討していきます。



- ・授業の中で、学生が個々に子ども施策について調べる機会を設け、グループ等で動画を作成してもらうことで、自ら行動しながら学ぶことができ、一方的に授業を聞くよりも内容が頭に入りやすくなる。
- ・クイズや謎解きを学校で行う、またクイズ形式のマンガを作るなど、体験型にすることで、主体的に考えることができる。



体験型にすることで、主体的に考える機会となり学びになるという視点は、ぜひ取り入れていきたいと思っています。今後、ショートドラマ制作の過程で、シナリオ等について子どもたちに見ていただき、ご意見をもらいたいと考えています。参加してくれる子どもたちの学びになるよう、効果的な意見聴取の方法について検討したいと思います。



すごろくゲームをプレイしてもらい、自分なりのストーリー展開を楽しんでもらう。やり込んだ人には横浜土産やLINEスタンプの特典を配布する。



特典を配布するという方法は費用面の考慮が必要ですが、子どもたちの興味や関心を惹くのに非常に有効だと感じました。



この他にも、たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。県は、これからもみなさんのご意見を聴きながら取り組んでいきます。



# 神奈川県へのご意見 ありがとうございました！



れいわ ねん がつ  
令和7年8月に、「**あなたのことを教えてください**」をテーマにみなさん  
からいただいたご意見について、県からのお返事をお伝えします。

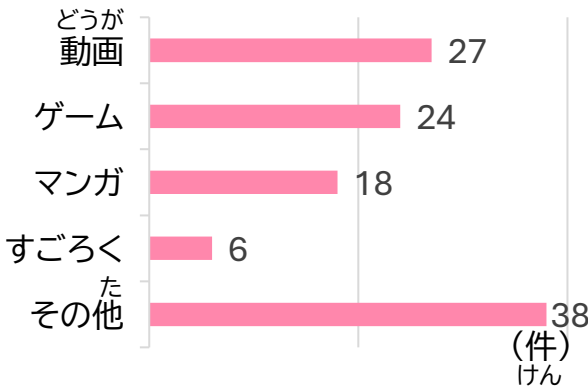
## きょうりよく かた ご協力いただいた方

県内学童保育利用者のみなさん



子ども目線会議

## いけん かず ご意見の数



いちばん  
「一番きょうみがあるものはなん  
ですか？」という質問に、たくさん  
のご意見をくれてありがとうござ  
いました。小学生のみなさんには、  
動画やゲームが人気であることが  
わかりました。

## けん 県はこうしていきます！

みなさんのご意見を参考に、どうやって県の「きまり」や「やっていること」  
を子どもたちに伝えたらいいか考えた結果、みなさんに身近に感じても  
らえるお話の**動画(ショートドラマ)**を作ることになりました。

来年の年明けくらいにみなさんに見てもらえるよう準備を進めています  
ので、楽しみにしていてください。

けん  
県がやっていることを本にしました！  
くわ  
詳しくはこちらをみてね→



## いけん こんなご意見をいただきました

- 動画 → 物語のように続きがあるといい。
- マンガ → 続きがあると読みたくなる。



動画やマンガは、「続きがあると見たくなる(読みたくなる)」というご意見が多かったので、ドラマみたいなお話にするとみなさんにきょうみをもってもらえることに気付くことができました。



- 動画 → マンガは白黒だけど、動画は色があるからわかりやすい。ずかんのDVDが、内容を動画で教えてくれるのでわかりやすい。



- 小説 → 絵がないほうが想像できていい。

色や音、動きなど、動画の良さを教えてくれて良かったです。また、小説は絵がない分、自由に想像ができていいというご意見もあり、楽しみ方によって、きょうみのあるものが変わってくるのが分かりました。



- ゲーム → みんなで一緒に遊ぶことができる。
- ジグソーパズル → くりかえし遊ぶことができる。
- ものを作ること → 考える力を使える。作ったものを自分で使うことができる。



動画やマンガの他にも、様々なものを教えてもらいました。お友達や家族と楽しめたり、くりかえし遊べたり、また考える力を使ったりと、それぞれとても大切なことだと思いました。みなさんから教えていただいたことを参考にしながら、ショートドラマづくりを進めていきたいと思います。



この他にも、たくさんの貴重なご意見をありがとうございました  
県は、これからもみなさんのご意見を聴きながら取り組んでいきます

かながわけん ふくしこ きよくこ ぶ じせだいいくせいかけ  
神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部次世代育成課



# 神奈川県へのご意見 ありがとうございました！



令和7年9月に、「知りたくなる、子ども・若者に関する  
条例・計画の伝え方」をテーマにみなさんからいただいた  
ご意見について、県の考え方をお伝えします。

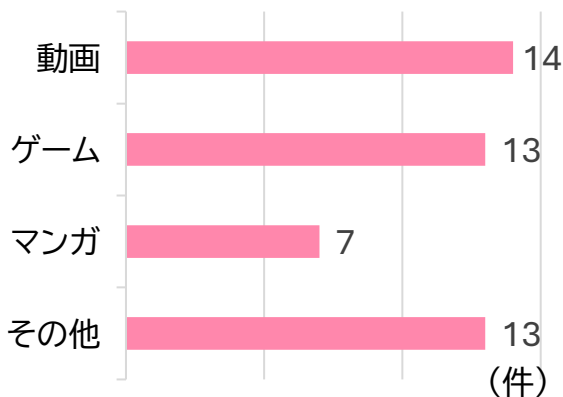


子ども目線会議

## ご協力いただいた方

県内小学校 6年生のみなさん

## ご意見の数



小学生のみなさんには、動画や  
ゲームが身近であることがよく  
分かりました。

また、その他の意見としては、

- ・ポスター、チラシ
  - ・こども新聞
  - ・バーチャル相談アプリ
  - ・アニメーションソング
- などがありました。

## 県はこうしていきます！

みなさんからいただいたご意見を参考に、どのように条例と計画の内容  
を子ども・若者のみなさんに伝えたらいいか考えた結果、  
小学生や中高生など年代別に、それぞれ身近に感じるテーマを設定し、  
**ショートドラマ**を制作することにしました。

今年の4月から制作を始め、来年(令和9年)の年明け頃にみなさん  
に見てもらえるよう準備を進めていますので、楽しみにしてください。

## こんなご意見をいただきました



- ・スマホを持っていない小学生も動画は見るので、幅広く伝えることができる。
- ・ポスターはスマホがなくても見ることができる。みんなの目につく所に貼るとよい。

より多くの子どもたちに見てもらうため、「自分のスマホを持っていなくても見ることができるか」という点は、とても大切なポイントだと思います。気づかせてくれてありがとうございます。



- ・長い動画は見る気がしない。  
短い動画で、ストーリー性を持たせて、続きが気になるような作りをするといいい。
- ・スマホゲームはスキマ時間にできる。
- ・テーマに合わせて主人公を設定することで、取組がより具体的に伝わる(マンガ)。
- ・前向きな歌詞を使いアニメーションソングを作る。聴くのに時間をそこまで要しないので、聴いてくれる人が増え、多くの人に伝えることができる。

みなさんのお話を聞き、動画やマンガに関しては、テーマ設定がされていて、ストーリー性があり続きが気になるような形のものだと見てもらいやすいということが分かりました。また、みなさんがスキマ時間を意識されていることも分かり、短時間で楽しめる工夫をする必要があると感じました。ありがとうございます。



- ・動画を作っても、そこにどう誘導するか(動画の存在をどう知らせるか)を考えないと、そもそも見てもらえない。
- ・影響力のある神奈川県出身の有名人にゲーム実況をしてもらおうと、たくさんの人に見てもらえる。

「作ったものをどうやってみんなに知ってもらうか」という広報の視点、とても大切だと思います。多くのお金がかかる有名人とのコラボレーションは難しいかもしれませんが、電車内や動画サイトで広告を流したり、学校や町の掲示板にポスターを掲示するなど、生活の中で何気なく目にするもの(場所)を使い周知するという方法は、今後、動画の周知の仕方を検討する際にぜひ参考にしたいと思います。



人によって楽しいと感じるものは違うが、学校で使うテキストを作成し、授業の一環として必ず学ぶことにすれば、抵抗感なく確実に子どもたちに伝わる。

学校では授業のカリキュラムが決まっていることも多く、時間が限られている中で取り扱ってもらうのは難しい面もありますが、より多くの子どもたちに確実に知ってもらうという点では、とても有効な方法だと思いました。



この他にも、たくさんの貴重なご意見をありがとうございました  
県は、これからもみなさんのご意見を聴きながら取り組んでいきます



# 神奈川県へのご意見 ありがとうございました！



令和7年9月に、「知りたくなる、子ども・若者に関する  
条例・計画の伝え方」をテーマにみなさんからいただいた  
ご意見について、県の考え方をお伝えします。

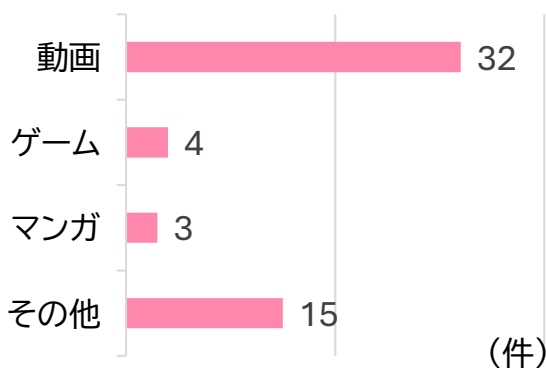


子ども目線会議

## ご協力いただいた方

県内中学校 3年生のみなさん

## ご意見の数



中学生のみなさんには、動画が  
人気であることが分かりました。  
なお、「その他」の意見には、  
・ポスター  
・ドローンショー  
・広告トラック  
・飛行船  
・プロジェクトマッピング  
・スクラッチカード  
などがありました。

## 県はこうしていきます！

みなさんからいただいたご意見を参考に、どのように条例と計画の内容  
を子ども・若者のみなさんに伝えたらいいか検討した結果、  
小学生や中高生など年代別に、それぞれ身近に感じるテーマを設定し、  
**ショートドラマ**を制作することにしました。  
今年の4月から制作を始め、来年(令和9年)の年明け頃にみなさん  
に見てもらえるよう準備を進めていますので、楽しみにしてください。

県の条例・計画を分かりやすい冊子にしました。  
詳しくはこちらをご覧ください→



## こんなご意見をいただきました



ショートドラマだと多くの方が気軽に見ることができ、問題を自分事として捉えることができる。今問題を抱えている人は共感し、支援の手を知ることができる。

みなさんのお話を聞き、動画に関しては、子どもや若者のみなさんの「共感」を得られるかがとても大切なポイントだと分かりました。

動画の視聴が、問題を自分事として考えたり、必要な支援に繋がったりするきっかけになるよう、身近なテーマを設定するなど工夫をしたいと思います。



- ・動画の最初に目を引くようなものを入れることで、興味を持ってもらう。
- ・SNS広告を使い、中毒性のあるリズムで分かりやすく条例の内容を説明する。
- ・動画サイトの広告は目につきやすく、スキップするまでは確実に見てもらえるため、短時間でインパクトのある動画を流す。

「インパクト」が必要というご意見が多く、動画サイトやSNSにおいて情報があふれている中で、いかに印象に残すかが重要だと改めて感じました。

限られた時間で視聴者の関心をひく方法について、考えていきたいと思っています。



- ・発信力のある有名人や、10代に人気のインフルエンサーに動画に出演してもらい、その人のチャンネルやアカウントで投稿してもらう。
- ・神奈川県庁公式サイトや公式チャンネルは中学生にとって親しみにくく、あまり見ない。

子ども・若者のみなさんの間で認知度が高い有名人やインフルエンサーに出演や発信をしてもらうというのは、みなさんの興味を惹く有効な手段だと思いつつ同時に、県の情報発信にはもっと工夫が必要だと感じました。

どうしたら少しでも多くの子どもたちに届けることができるか、周知方法を含めて検討していきます。



- ・飛行船や広告トラックに二次元コードを貼り、SNSでの拡散を狙う。
- ・プロジェクションマッピングを実施して、SNSで投稿してもらう。
- ・ドローンショーで最初絵的に説明し、最後に二次元コードで動画に誘導する。
- ・知事のアイスバケツチャレンジ動画をSNSに投稿し、決意を示す。

私たちには想像がつかないようなご提案をたくさんいただき、ありがとうございます。実現に当たっては、費用面などの考慮が必要ですが、話題性もあり、強く印象を残すことができる方法だと感じます。様々な視点をもって、より良い方法を探っていきます。



この他にも、たくさんの貴重なご意見をありがとうございました  
県は、これからもみなさんのご意見を聴きながら取り組んでいきます



# 神奈川県へのご意見 ありがとうございました！



令和7年10月に、「知りたくなる、子ども・若者に関する  
条例・計画の伝え方」をテーマにみなさんからいただいた  
ご意見について、県の考えをお伝えします。

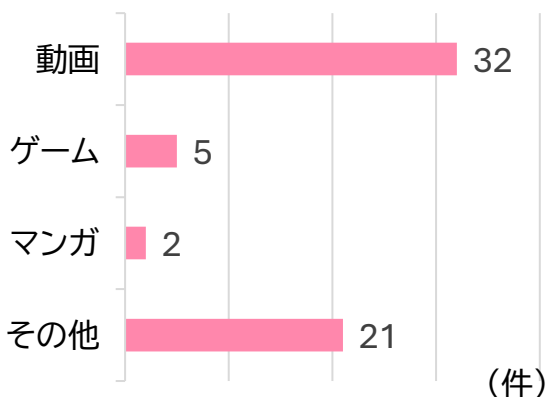


子ども目線会議

## ご協力いただいた方

県内高等学校 1年のみなさん

## ご意見の数



高校生のみなさんには、動画が身近であることを改めて認識しました。  
なお、「その他」の意見として、

- ・タイプ診断
- ・駅の掲示板や電車広告の活用
- ・神奈川県にまつわる著名人、企業、アニメ等とのコラボレーションなど、施策と関連付けたアイデアを多くいただきました。

## 県はこうしていきます！

みなさんからいただいたご意見を参考に、どのように条例と計画の内容を子ども・若者のみなさんに伝えたらいいか検討した結果、小学生や中高生など年代別に、それぞれ身近に感じるテーマを設定し、**ショートドラマ**を制作することにしました。  
今年の4月から制作を始め、来年(令和9年)の年明け頃にみなさんに見てもらえるよう準備を進めていますので、楽しみにしてください。

県の条例・計画を分かりやすい冊子にしました。  
詳しくはこちらをご覧ください→



## こんなご意見をいただきました



- ・LINEのバナーや動画サイト、また電車内広告など、スキップできない広告を流す。
- ・YouTuberや有名人、人気キャラクター、お店などとコラボし、県の取組を発信してもらう。

みなさんのご意見を聴き、動画を作るだけでなく、作ったものをどう周知していくかという点が重要だということが改めて分かりました。ショートドラマ制作後のプロモーションの方法について、しっかりと検討していきたいと思います。



- ・ライフプランニングをしっかりと大人になった人と、そうでない人の違いをショートアニメにして、小さい子どもに見せる。
- ・就職活動をしている人に向けて、実際に働く人のインタビューや、就職に関する県の支援制度紹介の動画を作る。

一口に動画と言っても、ターゲットや伝えたい内容によって様々な手法が考えられることに気付くことができました。ショートドラマを制作する際、ターゲットの年齢層やテーマを踏まえて、効果的な伝え方を考えていきたいと思います。



- ・様々な人のライフプランが見られる掲示板を作り、質疑応答や自分に関する書き込みが自由にできるようにする。
- ・スーパーやショッピングモールに、子育ての悩みなどを相談し合えるコミュニティエリアを作る。その間子どもたちが遊べる場を併設する。

誰かと情報交換をすることは、悩みを解決したり、視野を広げたりするのにとても有効な手段だと思います。県が一方的に発信するだけでなく、当事者同士で交流を持てる場を作るというのは、県の取組を進める上で意識していきたいと感じました。



- ・ゲームだと、自分で実践するので心に残りやすく、楽しんで学ぶことができる。
- ・マンガを作る。クスッと笑える要素を入れつつ、最後には県の取組やイベントのPRを入れる。

楽しみながら県の取組などを学んでもらえるような仕掛けをするのは、子ども・若者たちに伝えていく上でとても大切なポイントだと感じました。取組を伝えることだけに重きを置くのではなく、みなさんに興味をもってもらうための工夫を検討していきたいと思います。



この他にも、たくさんの貴重なご意見をありがとうございました  
県は、これからもみなさんのご意見を聴きながら取り組んでいきます